

第37回埼玉県都市対抗テニス大会結果

さいたま市は惜しくも3連覇逃し準優勝！



第37回埼玉県都市対抗テニス大会が1月21日(土)、22日(日)大宮第二公園テニスコートで開催されました。初日は寒風の中、2日目は穏やかな天候に恵まれました。さいたま市チームは、初日から接戦となり、何とかシードを守り決勝戦に進出しましたが、同じ南部地区代表の戸田市に惜しくも3勝4敗の僅差で惜敗し、3連覇と全国大会出場を逃しました。

【試合結果】

○1回戦、東部地区の吉川市と対戦し、6勝1敗で2回戦に進みました。

今年の都市対抗は、久々に応援が出来る事となり、団体戦の雰囲気に戻ってきました。

初戦は、朝からこの時期特有の寒風が吹く難しいコンディションでしたが、登録メンバー全員が出場し、皆伸び伸びとプレーし、ダブルス5試合で2回戦進出を決めました。

○2回戦は、西部地区の所沢市と対戦、4-2で接戦を制し翌日の準決勝進出を決めました。

所沢市は過去、何年も優勝を争った好敵手で、久々の対戦となりました。一般女子は序盤シーソーゲームとなりましたが、インカレでも活躍する星野姉妹は中盤から一気に突き放して快勝です。男子の山本・二反田ペアはタイブレークにもつれ込む接戦となりましたが、惜敗。続くベテラン勢の、45男子の石田・小杉ペアは強敵相手に苦戦。一方、小野田・角田ペア(45女子)、塩澤・関根ペア(55男子)は快勝し、ダブルスを3-2とし準決勝進出に王手。女子シングルの桃花選手が先に勝利して準決勝進出を決めました。

○翌日の準決勝は、東部地区第一代表の越谷市との対戦。4-1で決勝進出を決めました。

準決勝は、2年前にも対戦した越谷市との再戦です。前回は勝利しましたが個々の内容は接戦でした。今回も接戦になると予想しました。45女子こそ試合巧者の相手に上手くかわされてしまいましたが、一般男女、ベテラン男子が危なげなく勝利し、シングルスを待たずに4-1で決勝進出です。

○決勝戦は第二シードの新座市、第三シード川口市を破り勢いに乗る、同じ南部地区戸田市との対決です。

決勝戦は同じ南部地区で、初の決勝進出となった戸田市との対戦です。南部予選でも毎年対戦し、互いに手の内を良く知る相手ですが、初戦からシード勢を相手に接戦を制し波に乗っており、決勝も僅差の勝敗が予想されました。

ダブルスで勝ち越せば有利と見ましたが、一般女子と55男子を取る一方、45男女は相手の勢いに押され、また中盤まで接戦だった一般男子も最後に突き放され5-8で敗戦、2-3と厳しい展開となりました。

最後のシングルスで逆転勝利を目指しました。女子の桃花選手は学生対決を制し、3-3で男子の山本選手に掛かります。序盤、気合とともに3-0とリードしましたが、相手のエースも徐々に盛り返します。終盤まで接戦でどちらに転ぶか分からない展開でしたが、最後は経験値の差が惜しくも逆転負けとなりました。

○総括

選手及び役員の皆様、2日間お疲れ様でした。残念ながら、優勝と全国大会出場を逃しました。今回は、選手選考が遅れ、また各市とも底上げが著しく、結果を見ても初戦から僅差の対戦が多くどこが勝ってもおかしくない大会となりました。

その中で、さいたま市はシードを守り、選手の皆さんの頑張りで決勝に進出してくれましたが、後一步で優勝を逃しました。これは、強化側の課題として2024年度の滋賀大会に活かしていきたいと思えます。

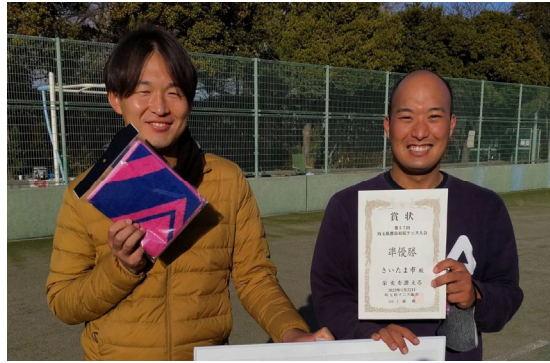
今年も秋から南部予選が始まります。今回は1~3位まで南部地区が占めましたが、西部地区の巻き返しも予想されます。今回の敗戦を良い薬にして巻き返しますので、引き続き応援よろしくお願い致します。

文責:強化部長 清水宏明

選手紹介



一般女子
星野桃花 星野遥香



一般男子
二反田航 山本翔太



ベテラン男子1部
小杉健一 石田大地



ベテラン女子
小野田愛子 角田幸子



ベテラン男子2部
関根浩王 塩澤正樹